

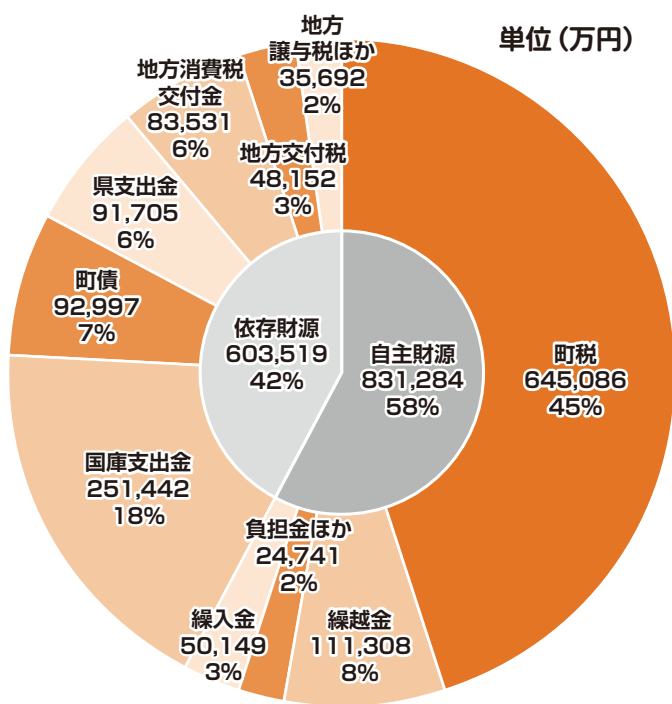
# 令和5年度 決算の報告

令和5年度（令和5年4月～令和6年3月）の決算がまとまり、9月議会において認定されましたので、その概要についてお知らせします。決算の詳細や公営企業会計の決算は、町ホームページをご覧ください。



一般会計の決算額は、歳入143億4,803万4,575円（前年度比+12.8%）、歳出134億7,069万3,573円（前年度比+16.1%）となり、差引額8億7,734万1,002円は令和6年度へ繰り越しました。

## 歳入（143億4,803万円）



町税収入は、令和4年度と比較して、7,326万円の増となりました。町税のうち町民税は6,616万円の増収となりました。

国庫支出金は、ORIGAMIプラザの整備に対する地方創生推進交付金の交付が主な要因となり、4億8,311万円の増となりました。

繰入金については、ORIGAMIプラザ整備に充てるため、生涯学習センター整備基金の繰入などを行ったことで、2億7,058万円の増となりました。

町債については、ORIGAMIプラザ整備事業や道路整備事業、庁舎トイレ改修事業などの財源とするための借入れを行ったことから、6億6,687万円の増となりました。町債や国庫支出金の増により、依存財源は12億1,760万円の増となりました。

## 特別会計の決算

特定の事業を行うために、一般会計とは区別して経理される特別会計の決算は下表のとおりです。決算の差引額については、それぞれ令和6年度へ繰り越しました。

会計	歳入 (前年度比)	歳出 (前年度比)	差引額
国民健康保険事業特別会計	29億7,953万円 (+2.0%)	28億5,680万円 (△0.8%)	1億2,273万円
介護保険事業特別会計	25億1,009万円 (+4.2%)	22億5,308万円 (+2.9%)	2億5,701万円
後期高齢者医療特別会計	3億2,639万円 (+5.7%)	3億2,214万円 (+5.6%)	425万円
農業集落排水事業特別会計	3億1,458万円 (△5.7%)	3億1,037万円 (△2.4%)	421万円

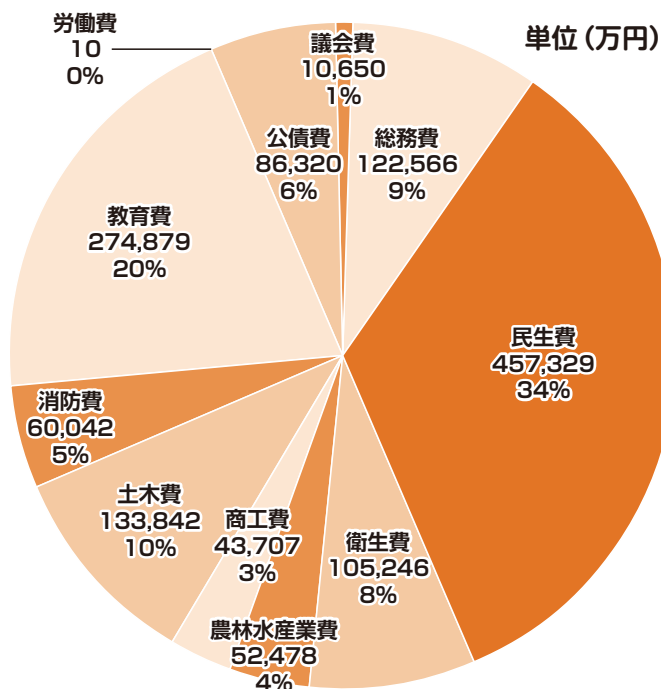
## 歳出(134億7,069万円)

目的別に見ると、**民生費**の割合が最も高く、令和4年度と比較して、**1億8,094万円の増**となりました。令和5年度から始まった**低所得世帯支援給付金事業**が増加の主な要因です。なお、社会保障施策の充実により**子ども・子育て支援費**や**障害者自立支援給付事業**などが増加傾向となりました。

**教育費**については、令和6年5月6日開館に向けた**ORIGAMIプラザ整備事業**により、**14億1,776万円の増**となりました。

**土木費**は、**願成寺なかよし公園の整備**や**道城橋、清水橋の整備**などにより、**8,979万円の増**となりました。

**衛生費**は、**クリーンパーク茂原の火災対応経費**の増加により、前年度と比較し**8,681万円の増**となりました。

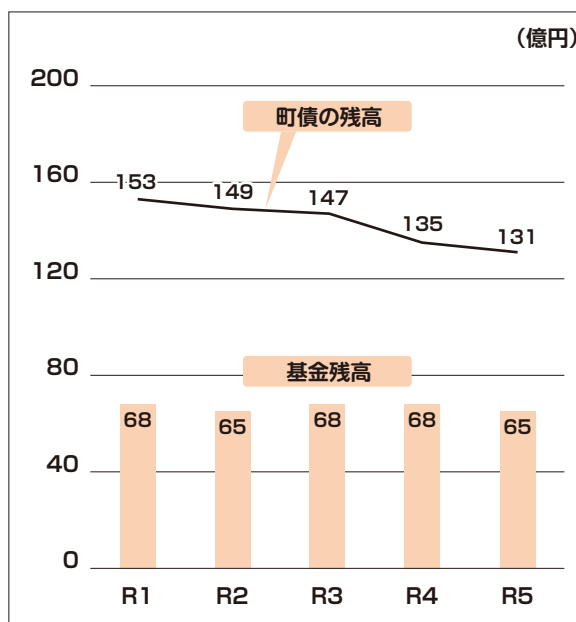


## 主な事業

庁舎・設備維持修繕事業	1億7,922万円	医療費助成事業	1億9,874万円
クリーンパーク茂原等運営事業	3億5,983万円	農地再整備事業	1,213万円
企業等設備導入奨励事業	2億8,529万円	願成寺なかよし公園整備事業	5,641万円
道路整備事業	1億7,939万円	消防設備整備事業	2,625万円
ORIGAMIプラザ整備事業	16億4,215万円	ALT配置事業	3,055万円

## 町債の残高

町債とは、建設事業などの財源として、国や金融機関から借り入れるものです。一般会計、特別会計、企業会計を合わせた町全体の**令和5年度末残高**は、**130億9,456万円**となりました。令和5年度の借入額を元金の返済額が上回るため、残高は減少しました。



## 基金の残高

基金とは、様々な目的のために積み立てているものです。一般会計と特別会計を合わせた町全体の**令和5年度末残高**は、**64億6,600万円**となりました。主なものとして、ORIGAMIプラザ整備事業の財源に充てるため、生涯学習センター整備基金を取り崩しました。

# 令和5年度決算 健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく、健全化判断比率と資金不足比率を公表します。健全化判断比率には、**実質赤字比率**、**連結実質赤字比率**、**実質公債費比率**、**将来負担比率**の4つの指標があります。令和5年度決算は令和4年度決算に引き続きいずれの指標も『**健全**』となりました。また、各公営企業会計においても、『**資金不足なし**』となりました。

## 健全化判断比率

指標	町の比率		早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	健全	13.90%	20.00%
連結実質赤字比率	—	健全	18.90%	30.00%
実質公債費比率	7.3%	健全	25.00%	35.00%
将来負担比率	—	健全	350.00%	

※赤字が発生していないことから、実質赤字比率および連結実質赤字比率は算定されていないため、「—」と表記しています。また、将来負担比率は算定されていないため、「—」と表記しています。

## 資金不足比率

会計	比率		経営健全化基準
水道事業会計	—	資金不足なし	20.0%
下水道事業会計	—	資金不足なし	
農業集落排水事業特別会計	—	資金不足なし	

## 一般会計の決算を【1か月30万円】の家計に置き換えてみると？

①医療費【扶助費】、②食費【人件費】、③ローンの返済【公債費】の3つは『**義務的経費**』と呼ばれ、**支出全体の39.7%**（前年度比△6.4%）を占めています。これらの経費は支払いが義務づけられているため、任意での削減が困難であり、この割合が増えることは財政の硬直が進んでいることを意味します。なお、令和5年度はORIGAMIプラザ整備事業により、⑥家の増改築費用【普通建設事業費】の割合が、例年に比べて高くなっています。

また、将来見込まれる費用や災害時等の急な出費に備えて、計画的に⑦貯金【積立金】をしていく必要もあります。

① 医療費【扶助費】	6万2,400円
② 食費【人件費】	3万7,500円
③ ローンの返済【公債費】	1万9,200円
④ 光熱水費などの生活費 【物件費・補助費・維持補修費】	9万8,100円
⑤ 子どもへの仕送り【繰出金】	2万6,100円
⑥ 家の増改築費用 【普通建設事業費】	5万5,500円
⑦ 貯金【積立金】	1,200円
合計	30万円

▶ 問い合わせ先=企画課 財政係 ☎ 0285(56)9119